

教科	科 目	単位数	学年・クラス
数学	数学基礎	2	3 年 1 組

1 使用教材

使用教科書	数学の苦手が好きに変わるとき
出版社	ちくまプリマー新書
副教材等	令和 7 年度数学就職問題集
出版社	愛媛県高等学校教育研究会数学部会

2 学習の目標

1	四則演算について小中学校で学ぶ基本的な知識を身に付ける。
2	特に小中学校の内容について他人に教えることができるようになる。
3	数学 I・A の内容を見直し現実事象に活用しようとすることができるようになる。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	四則演算について基本的な法則や計算方法を理解するとともに、算数・数学の考え方や推論方法などを体系的に理解する技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	四則演算について他人に教えたり、相手が理解できるように説明できたりするとともに、数と式、2 次関数を現実事象と結び付けて考えることができている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	各内容について体系的に理解するとともに、自身の考え方を積極的に発表し、よりよい考え方を創り出せるようになっている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
定期考査	A	A	C	総合的な出来
小テスト	A	B	C	既習事項を身に付けることができているか
レポート	C	C	A	提出内容
授業	C	B	A	授業態度や発表、協調性があるか

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学 期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学 期	第1章 正負の数 正負の数と絶対値 掛け算と割り算だけの式 四則の混じった計算 第2章 文字式 文字を使った商の表し方 単項式×数、単項式÷数 展開の公式 第3章 1次方程式 等式の性質と方程式 1次方程式の文章題 第4章 連立方程式 連立方程式 連立方程式の文章題 第5章 平方根 素数と素因数分解 計算	基本的な計算をできるようになる。 2桁の演算までなら暗算できるようになる。 約分・通分がなぜ必要なのかを理解し、その説明および加法・減法ができるようになる。 具体的な数字から抽象的な文字へ拡張し、その有用性を理解する。 有理数係数の1次方程式を解くことができ、その説明を行うことができる。 与えられた条件から方程式を立式し、値を求めることができる。 連立方程式の意味を説明することができ、解くことができる。 与えられた条件から連立方程式を立式し、値を求めることができる。 平方根を説明することができ、その簡単な四則演算を行うことができる。
2 学 期	第5章 平方根 分母の有利化 複雑な計算 第6章 因数分解 公式を利用する因数分解 (1) 公式を利用する因数分解 (2) 第7章 2次方程式 2次方程式の解き方(1) 2次方程式の解き方(2) 2次方程式の文章題(1) 2次方程式の文章題(2) 第8章 比例・反比例と1 次関数 座標 比例とそのグラフ 反比例とそのグラフ 1次関数とそのグラフ 1次関数の式を求める(1) 1次関数の式を求める(2) 連立方程式	分母の有利化の意味を理解し、計算できるようになる。 式の展開・因数分解を理解し、計算できる。 公式の有用性を理解し、公式を使いこなせるようになる。 2次式を理解し、方程式が解けるようになる。 与えられた条件から方程式を立式し、値を求めることができる。 平面上での点の表し方を学び、座標の意味を理解する。 比例式や反比例式を理解し、グラフを書くことができる。 2直線の交点を連立方程式の考え方をを用いることで、求めることができる。

3 学 期	第 9 章 2 次関数 2 次関数の変化の割合 第 10 章 平面図形 扇形の弧の長さや面積の 求め方 対頂角・同位角・錯角 合同の証明問題	簡単な点の値をプロットすることで 2 次関数のグラフを書くことができる。 2 次関数の式からグラフを正確に書くことができる。 扇形の弧の長さや面積を計算できるようになる。 対頂角や同位角、錯角を理解し、平行線の公理の概念を理解し、三角形などの図に活用することができる。また三角形の合同条件、相似条件を理解しており、それを説明することができる。
----------------------	--	---